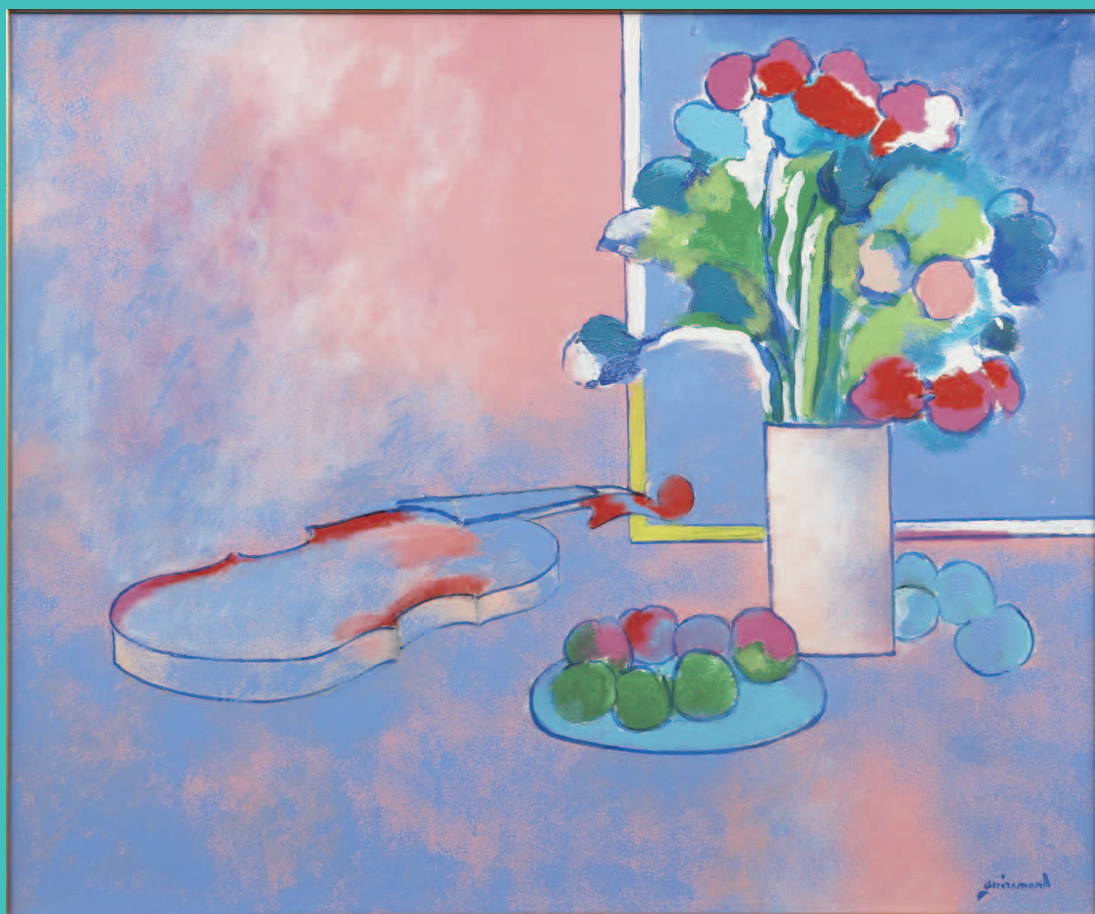


# Salon

Vol.121 2019年7月 夏号



ホール3F 壁画 ポール・ゴッアマン作「花とヴァイオリン」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — コハーン・イシュトヴァーン & 金子三勇士
- 03 Phoenix Presents — シャロン・シャノン
- 05 Pick Up
- 07 Essay de say — 音楽と生きる今 高木和弘

# 盟友による最強デュオ、ザ・フェニックスホール初登場！ 金子三勇士さん コハーン・イシュトヴァーンさん



©I. Kohán

今年2019年が、日本・ハンガリー外交関係開設150周年の記念年であることをご存知だろうか。リスト、バルトークといったハンガリー出身の作曲家たちによる音楽は日本でも馴染みであるし、未だにファンの多いセルやショルティといった往年の名指揮者たちもハンガリー出身である。また、「炎のコパケン」こと小林研一郎がハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団で桂冠指揮者のポジションにあってりと、クラシック分野での両国の文化交流はこれまでも非常に盛んであった。

そんな日本とハンガリー、両国の関係を更に深めてくれるであろう若きふたりの音楽家——日本人の父とハンガリー人の母を両親にもつピアニストの金子三勇士と、ハンガリー出身で現在は日本に住むクラリネット・ソリストのコハーン・イシュトヴァーンがザ・フェニックスホールでデュオリサイタルを開催する。如何にして、このふたりは日本でデュオを組むに至ったのか？ 東京文化会館 小ホールでのリサイタル(2019年3月)を終えたばかりのおふたりに話を伺った。

(取材・文：小室敬幸／音楽ライター)

## 金子三勇士(かねこ・みゆじ/ピアノ)

1989年日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳で単身ハンガリーに渡りバルトーク音楽小学校に入学。2001年からは11歳でハンガリー国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学。2006年に全課程取得とともに帰国、東京音楽大学付属高等学校に編入する。東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。2008年、バルトーク国際ピアノコンクール優勝のほか、数々の国際コンクールで優勝。第22回出光音楽賞他を受賞。これまでにゾルタン・コチシュ指揮/ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、小林研一郎指揮/読売日本交響楽団、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団などと共演。国外でも広く演奏活動を行っている。現在、NHK-FM「リサイタル・パッシオ」に司会者としてレギュラー出演。近年はライフワークの一環としてアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。キシマロシ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。オフィシャルホームページ <http://miyuj.jp/>

## コハーン・イシュトヴァーン(István KOHÁN/クラリネット)

ハンガリー出身のクラリネット奏者。12歳でバルトーク音楽院英才教育コース(高等学校)に入学し、J・リヒテルクラリネットコンクール、カルリーノ国際音楽コンクール、アントン・エベルスト国際クラリネットコンクール、ICA国際クラリネットコンクール、東京音楽コンクール、秋吉台音楽コンクール、日本木管コンクール、日本音楽コンクールなど、多くの国際コンクールで優勝・入賞する。リスト音楽院卒業後の2013年に活動拠点を日本に移し、2016年に東京音楽大学大学院修了。これまでに新日本フィル、東フィル、紀尾井シンフォニエッタ、ジュールフィルハーモニー交響楽団とコンチェルトを協演、またソロリサイタルや室内楽の活動を展開するほか、2014年からは作曲家としても活動の幅を広げる。オフィシャルホームページ <http://www.istvankohan.com>

# 互いをどこまでも高め合い続ける 理想的なデュオ

まずはお二人の出会いについて聞かせてください。

**金子:** 私は6歳でハンガリーに行きまして、最初はバルトク音楽小学校に通っていたんです。11歳からはハンガリー国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学することになったんですけど、ハンガリーでは18歳までは義務教育があるので、音楽以外の科目をバルトク音楽高校で学ぶことになりました。13歳の時にそこで出会ったのが彼(コハーン)なんです。

**コハーン:** 私は、そこで音楽も学んでいました。

**金子:** 確か特待生だったよね。一緒に数学や体育の授業を受けているクラスメートだったんです。クラスは8~12人くらいと小規模だったので、関係も密でしたね。まだ学生の身でしたからコンサートでの共演はありませんでしたが、休み時間になると遊びで(ハンガリーの伝統音楽である)チャールダッシュみたいなのを即興的に弾いたりしていました。

金子さんはその後、16歳で日本に戻られましたよね。

**金子:** 急に日本に戻るようになったので、それまでの交友が一度切れてしまったんです。当時はまだ今のようにSNSも普及していませんでしたし、しばらくは互いが何をしているのか知らない時期があって。たまに私がハンガリーに帰ると、偶然音楽院でばったり会ったりはしたんですけど。ところが、それから何年後になって、ある日SNSを開いたら、彼が日本人の奥様と結婚して、袴を着ている写真がタイムラインに上がってきたんです。それで連絡をして、「いま何してるの?」って聴いたら、「東京音楽コンクールのセミファイナルが終わって、今度ファイナルに通ったんだ!」ときたので、応援にかけつけました。

そんなドラマチックかつ、現代的な再会だったとは(笑)。コハーンさんは、日本に来た時点で金子さんに連絡されなかったんですね。

**コハーン:** 実は同級生たちの間で、三勇士くんはフィンランドに行ったんだということになっていたんです。

**金子:** おかしな話ですよ。誰にもそんなこと言っていないのに、あらぬ噂が(笑)

**コハーン:** その後、SNSで三勇士くんが日本で活躍しているのは見ていました。ただ、私も日本に来たばかりで忙しかったんです。

なるほど、それでコンクールのファイナルが久々の対面となったのですか。そして、コハーンさんは見事優勝を飾ります。

**金子:** 来た甲斐がありました(笑)。そこで色々一緒

にやりたいねという話をしたわけですよ。

**コハーン:** でも、三勇士くんも私も忙しいから、なかなか予定が合わない(笑)

**金子:** お互いソリスト(独奏者)ですから、今では年に数回という共演が、スペシャル感があって丁度良いのかなと思っています。

**コハーン:** 実は三勇士くんに言っていないことがあります。私が日本に来たばかりの頃は、どんな仕事でももらえるのが嬉しかった。でも三勇士くんと再会してから、自分もソリストを目指そうと思ったんです。だから、クラリネット・ソリストと名乗るようになったのは彼がきっかけなんです。

**金子:** そうだったんだ!それは初めて知りました(笑)

互いに刺激を与え合う素敵な関係であることが伝わってきます! その後、本格的なホールで初めて共演されたのは、意外にも2018年2月のことなんだそうですね。

**金子:** その前後にも、小さい本番では何回も一緒に演奏しているんですけどね。

今回、おふたりの共演を実際に聴かせていただいたのですが、異なる個性が絡み合うことで互いの良い部分を更に引き立てていたのが印象的でした。

**金子:** 少年時代をともに過ごした、共通の空気感が流れる私たちだからこそ、そうなるんじゃないでしょうか。色んな方と共演してきましたけど、彼と共演すると他の方では出てこないものが表れるんですよ……それも本番で!逆にいえば、リハーサルでは全然でてこない(笑)

**コハーン:** 世界的にみても、ふたつのタイプの音楽家がいますと思うんです。ひとつめは、きっちりとりハーサルで色んなことを決め込むタイプ。ふたつめは私たちのように突然、ステージ上で色んなことが変わっていくタイプ(笑)

**金子:** だから、本当はリハーサルをあんまりしたくない。本番に出てくるものを楽しみたいんです。臨機応変型と言いますか。

お国モノのハンガリー音楽では、かなり伸縮自在の演奏をされていたので、リハーサルで作り込んでいらっしゃるのかと思いました。

**金子:** 実はあれ、リハーサルでは全く弾いていないんですよ。

**コハーン:** 一緒に弾くのは1年振りだったよね。

**金子:** 逆にぶっつけ本番じゃないと、あの空気ってなかなか出てこないんです。慣れてきちゃうのも駄目です。瞬間芸術といいますが、ああいう音楽にはその場の即興性が必要なんです。そもそも、私た

ちの間では「他のテンポ感はある得ないよね」とか「絶対こうなるでしょ」というものが共有されているので大丈夫なんです。

**コハーン:** 今日の演奏と、この前の演奏も全然違ったね。

**金子:** 全然違ったね。なのに「あ、いま!」というタイミングが演奏中に分かるから不思議です。

最後に、音楽家として互いに尊敬する部分を聞かせていただけますか。

**金子:** 昔からなんですけれど、クラリネットという1本の楽器にとらわれない音楽をすることですね。彼がソリストでやると聞いた時に、彼だったらきくと出来るなと思えたのは、「クラリネットの音」を聴いているのではなく、「音楽」を聴いている感じがするからなんです。だから、自分のやりたい音楽を発信していくために普通はやらないことをしたりもするし、クラリネットらしくない音色が出ることもある。それが僕から見ても刺激を受ける部分であり、彼の演奏のなかで一番好きなところで。

**コハーン:** 三勇士くんの他にも上手なピアニストは沢山います。でも、同じような曲を同じように弾くことなく、三勇士くんはリスクを取るんです。ステージ上で新しいアイデアを出してくれるので、いつも緊張感と興奮をもたらしてくれます。しかも、とても自然。いちばん大事なことです。作品にあった解釈でありながら、新しさも感じられるんです。

おふたりの出演される10月の演奏会で、今度はどんな新しいアイデアが生まれていくのかとても楽しみです。本日はどうも有難うございました!

「コハーン・イシュトヴァーン&金子三勇士 デュオリサイタル」は、2019年10月5日(土)午後3時開演。入場料3,500円(指定席)、友の会3,150円。学生1,000円(限定数)。ザ・フェニックスホールチケットセンターのみお取り扱い。チケットのお求め、お問合わせは同センター(電話06-6363-7999 土・日・祝を除く平日10時~17時)。

[プログラム]

J.S.バッハ: ヴァイオリンソナタ ト短調 BWV1020  
ブラームス: 6つの歌 op.3より 第1曲「愛のまこと」  
5つの歌曲 op.105より 第1曲「旋律のように」

シューマン: 幻想小曲集 op.73

サン=サーンス: 序奏とロンドカプリチオーソ

コハーン: ハンガリー幻想曲 第1番

シューマン(リスト編): 献呈 S.566 R.253

リスト: パガニーニ大練習曲集 第3曲

「ラ・カンパネラ」 S.141 R.3b

リスト(コハーン編): ハンガリー狂詩曲 第12番 S.244

ガーシュウィン(コハーン編): ラプソディ・イン・ブルー

(予定)



**7月26日(金)**  
10:00 受付開始  
ザ・フェニックスホール  
友の会優先予約

**7月29日(月)**  
10:00 受付開始  
イー・フェニックス  
E-PHX優先予約

**7月30日(火)**  
10:00  
一般発売

インターネット予約、ご来店による  
お申込みは7月31日(水)10:00から!

■世界一周音楽の旅28

2019年12月3日(火)

19:00開演 指定席  
一般¥5,000(友の会価格¥4,500)  
学生¥1,500(限定数)

出演  
シャロン・シャノン(アコーディオン)  
ジム・マレイ(ギター)  
ショーン・リーガン(フィドル)  
ジャック・マハー(ギター、キーボード)



アイルランド、人気・実力No.1アコーディオン奏者。  
シャロン・シャノン

曲目	The Galway Girl	Blackbird
	Music for a Found Harmonium	The Mouth of the Tobique
	Rusheen Bay	その他、アイルランド伝統音楽(ジグ、リール)など (予定)

\*都合により曲目などが変更になる場合がございます。あらかじめご了承下さい。

シャロン・シャノンは、アイルリッシュミュージックやアイルリッシュダンスが盛んな土地として知られるアイルランド西部・クレア州出身のアコーディオン奏者。アイルランド伝統音楽シーンで早くからその才能を開花させて、今日のキャリアを築いてきました。中でも2008年発売のシングル「ゴールウェイ・ガール」が大ヒットし、以来、国民的アーティストとして多くの人に親しまれています。ジャズやポピュラー音楽の要素なども積極的に取り入れ、伝統音楽の中に垣間見える現代的なセンスが光る独自の音楽からは、彼女の懐の深さを感じずにはいられません。確かな技巧に裏打ちされたエッジの効いた演奏と、彼女の朗らかで人懐っこい人柄が相まって、観る・聴く人をハッピーにさせてくれる、まさに人気・実力ナンバーワンのシャロン・シャノン。ライブ演奏ならではのサウンドにご注目ください。

シャロン・シャノン (Sharon Shannon / アコーディオン)

アイルランド・クレア州出身。幼少時よりアコーディオンを弾きはじめ、10代半ばにはすでに腕利きのプレイヤーとして活躍。抜群のドライブ感と爽やかな音色でアイルリッシュ・ミュージック・シーンに旋風を巻き起こした。ケルト以外にもカントリー、ロック、クラシックなど他ジャンルとのコラボレーションも活発に行う。1991年に、ウォーターボーイズやU2のメンバーなども参加した1stアルバム『シャロン・シャノン』を発表、デビュー作にしてアイルランド伝統音楽の史上最多売上枚数を樹立した。代表作『ダイヤモンド・マウンテン・セッションズ』(2001)はトリプル・プラチナムを獲得。2008年にシングル「ゴールウェイ・ガール」を大ヒットさせ、トリプル・プラチナム獲得と、年間ダウンロード最多記録をたたき出した。アイルランドで彼女を知らない者はいないというほどの国民的ミュージシャンである。

ホール主催・協賛公演チケットのお申込み方法

**06-6363-7999**

土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00

<http://phoenixhall.jp/>

チケットセンターのページからお申込みください

直接のご来店による  
お申込み

・ザ・フェニックスホールチケットセンターはホール建物8階、エレベーターを降りて廊下右手です。



- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
  - ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
  - ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。

- E-PHX(イー・フェニックス)優先予約
  - ・E-PHX(イー・フェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
  - ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページから登録ください。お電話での登録はできません。

- 一般発売
  - ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

- インターネット予約(主催公演のみ)
  - ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
  - ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれ入りますがお電話でお問合せください。
  - ・ホームページ更新の都合により、完売表示のない公演でもお申込み時には完売となっていることもございます。どうぞご了承ください。
  - ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしておりません。
  - ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

チケットお申込み後のお受け渡し方法 下記①または②のどちらかとなります。

- ①お申込み日から10日以内にザ・フェニックスホールチケットセンターへご来店ください。営業時間は土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00です。
- ②先に郵便振込みをしていただき、入金確認後チケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール



# Osaka Guitar Summer 2019

Osaka Guitar Summer 2019では、マエストロ福田進一さんと、世界トップクラスの演奏家によるコンサートを中心とし、これら演奏家が次代を担う若者を指導する「公開マスタークラス」を実施します。公開マスタークラスの聴講をご希望の方は、事前のお申し込みをお願い致します。なお、今年度は、ギターアンサンブルの公開レッスンはありません。翌日には、フェスティバルコンサート(修了コンサート)も行います。マスタークラス受講生によるレッスンの成果を披露、公募で集まったギターアンサンブルによる演奏、その講師によるゲスト演奏でお楽しみいただきます。今年もギターアンサンブルのために書き下ろされた林そよかさんの新曲は必聴です。

## 福田進一とエドゥアルド・フェルナンデスによる公開マスタークラス

8月24日(土) 13:00開始(12:30開場) 自由席

受付期間: 7/26(金)10:00~8/16(金)

①13:00~14:00 ②14:20~15:20 ③15:40~16:40 ④17:00~18:00

■講師 福田進一、エドゥアルド・フェルナンデス 通訳:岩崎慎一

■受講生 4組

■入場料 無料(要・入場券。当ホールチケットセンターのみお取り扱い) **要申込み**  
※お1人2枚まで ※1枚の入場券で1日聴講いただけます。

■お申込み方法

ザ・フェニックスホールチケットセンター: TEL 06-6363-7999 (平日の10時~17時)

FAX: 専用の申込み用紙に必要事項をご記入のうえ、ご送信ください。

FAX 06-6363-1124

申込み用紙はホールホームページ <http://phoenixhall.jp> よりご入手可能です。

ウェブ: 下記のURLもしくはQRコードからアクセスしてください。

[https://f.msgs.jp/webapp/form/10897\\_ddq\\_52/index.do](https://f.msgs.jp/webapp/form/10897_ddq_52/index.do)



## フェスティバルコンサート(修了コンサート)

8月25日(日) 13:00開演(12:30開場) 自由席

好評発売中!!

■出演 公開マスタークラス受講生、アンサンブルワークショップ受講生  
岩崎慎一、益田展行、猪居謙、猪居亜美(以上ギター)

■曲目 公開マスタークラス受講曲

林そよか:4つの海の物語(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール委嘱作品 2019)他

■入場料 1,500円(当ホールチケットセンターのみのお取り扱い)

※8月25日(日)16:00開演「福田進一&エドゥアルド・フェルナンデス  
ジョイントリサイタル」のチケットをご購入の方は無料。

(要事前申込み。定員200名になり次第、締め切らせていただきます。)

※学生券、友の会の割引はありません。

■お申込み方法

ザ・フェニックスホールチケットセンター: TEL 06-6363-7999 (平日の10時~17時)



■会場 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

■お問い合わせ ザ・フェニックスホール「大阪ギターサマー事務局」06-6363-0211(平日9時~18時)

## <講座> 土と挑発：郷古廉&加藤洋之 デュオリサイタルに寄せて



10月26日(土)伊東信宏 企画・構成 土と挑発：郷古廉&加藤洋之 デュオリサイタルの公演に先駆け、コンサートを企画した伊東信宏教授による事前レクチャーを開催します。この講座では、伊東教授の専門であるバルトークやヤナーチェクなど東欧音楽の魅力についてお話いただきます。どうぞ、お気軽にご参加ください。

受付中

- 【日 時】 9月1日(日) 開演14:00(開場13:30) 自由席
- 【会 場】 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスタワー16階大会議室  
\*あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールと同じ建物内です。  
エレベーターで16階までお越しください。
- 【講 師】 伊東信宏 氏(大阪大学教授、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー)
- 【定 員】 100名(要事前申込制・先着順)
- 【参加費】 500円  
\*10/26(土)「土と挑発：郷古廉&加藤洋之 デュオリサイタル」のチケットをご購入の方は無料。  
(お申込みは、ご購入された方のお名前でご予約をお願いいたします。また、演奏会チケットの購入枚数を上限と致します。)
- 【お申込み】 ザ・フェニックスホールチケットセンター TEL 06-6363-7999(平日の10時~17時)
- 【お問い合わせ】 ザ・フェニックスホール自主企画公演グループ TEL 06-6363-0211

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内 ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

### 協賛公演 関西二期会サロンオペラ 第19回公演「三人の女達の物語」「あまんじゃくとうりこひめ」

発売中

2019年8月28日(水)、29日(木) 19:00開演 自由席 一般前売・当日¥3,500(友の会価格¥3,150) 主催 公益社団法人関西二期会

出演 袖岡浩平(指揮)、簀川直子(演出)、須山由梨(ピアノ)、米田哲二(公演監督)  
キャスト(8/28) 「三人の女達の物語」：島袋羊太、服部英生、田村香絵子、本木麻美、梵智惇声、松永麻美、藤井零治、南出真美  
「あまんじゃくとうりこひめ」：山下春菜、山出知佳、井垣満璃奈、萬田一樹、島袋羊太  
キャスト(8/29) 「三人の女達の物語」：島袋羊太、山川大樹(関西歌劇団)、濱崎加代子、日吉聖美、八百川敏幸、奥村真比呂、日紫喜恵美  
「あまんじゃくとうりこひめ」：山田千尋、清水愛子、田井美佐緒、岡村圭一郎、出口武、萬田一樹  
曲目 別宮貞雄：歌劇「三人の女達の物語」 林光：歌劇「あまんじゃくとうりこひめ」

毎回好評を頂いております関西二期会サロンオペラ。気軽にプロの演奏を楽しんで頂くことをテーマに公演を重ねてきました。第19回は日本オペラの名作2作品。狂言を基にしたオペラ「三人の女達の物語」は異なったタイプの女性を描いた喜歌劇。日本むかし話で知る人も多い「あまんじゃくとうりこひめ」は心温まる民話オペラ。日本らしい生き生きとした旋律を歌手の息遣いまで感じられるザ・フェニックスホールの空間でお楽しみください。



### 協賛公演 中務晴之 フルトリサイタル in 大阪 主催 株式会社グローバル

発売中

2019年9月29日(日) 14:00開演 自由席  
一般前売¥3,500(友の会価格¥3,150) 一般当日¥4,000(友の会価格¥3,600) 学生前売¥2,000 学生当日¥2,500

出演 中務晴之(フルート)、阿部裕之(ピアノ)  
曲目 フランク：ヴァイオリンソナタ 長調 FWV8  
J.S.バッハ：フルートソナタ 短調 BWV1030  
プロコフィエフ：無伴奏ソナタ 二長調 op.115(原曲：無伴奏ヴァイオリンソナタ)  
ベーム：シューベルトの主題によるファンタジー 変イ長調 op.21

2017年5月、自身の還暦を記念してスペシャルコンサートを開催、教え子200名によるフルートオーケストラと共演し感動的なステージを聴衆にお届けしてから約2年。今回、大阪では約10年振りとなる待望のリサイタルをザ・フェニックスホールにて開催。現在、大阪教育大学教授、大阪音楽大学講師。



### 協賛公演 「時の終わりのための音楽」

発売中

2019年9月30日(月) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥5,000(友の会価格¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。

出演 デルク・アルトマン(クラリネット)、白井圭(ヴァイオリン)、横坂源(チェロ)、岡本麻子(ピアノ)  
曲目 ラヴェル：ヴァイオリンとチェロのためのソナタ  
マーラー(ウツキ編)：「子供の魔法の角笛」より「ラインの伝説」、「むだな骨折り」、「塔の中の囚人の歌」、  
「亡き子をしのぶ歌」より「ふと私は思う、あの子たちはちょっと出かけただけなのだ」  
リュッケルト歌曲集より「私はこの世に捨てられて」  
メシアン：世の終わりのための四重奏曲

このコンサートのプログラムは、19世紀から20世紀への変り目の激動の時代にフォーカスしています。それは現在に通じるものもあり、当時は誰もその危険性に気がついていませんでしたが、いつまでも人類の教訓となるべき戦争につながりました。そこに生と死が共通のテーマになっています。

主催 コジマ・コンサートマネジメント



協賛  
公演

## Sun Bones Trombone Trio ザ・フェニックスホールコンサート

主催

Sun Bones Trombone Trio

発売中

2019年10月8日(火) 19:00開演 自由席 一般前売¥2,500(友の会価格¥2,250)  
一般当日¥3,000(友の会価格¥2,700) 学生(大学生以下)前売¥1,500 学生(大学生以下)当日¥2,000

出演 Sun Bones Trombone Trio / 武内紗和子、岡村哲朗、石井徹哉(以上トロンボーン)  
曲目 J.S.バッハ(石井徹哉編):イタリヤ協奏曲 ベグーソン:イベリアンイッチ  
ペルゴレージ(ザウアー編):トリオソナタ 第4番 プレムル:3本のトロンボーンのための2つの小品  
ラフォス:即興的組曲 大内邦靖:システム7

「さんぼんトリオ」の愛称と共に、トロンボーントリオという珍しい編成による活動をしているSun Bones Trombone Trio。昨年フェニックス・エヴォリューション・シリーズに選出されたさんぼんトリオが、再びザ・フェニックスホールでコンサートを開催いたします。バッハの名曲「イタリヤ協奏曲」をトロンボーン3本で、1本ずつの楽器の響きが、3声以上の広がりを作り出す瞬間をお楽しみください。

協賛  
公演

## “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” 究極のフレンチ・バロック ～絶対王政とその栄華の極み～

主催 コジマ・コンサートマネジメント

7/19(金)  
発売

2019年10月23日(水) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥5,000(友の会価格¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。

出演 酒井淳、マリオン・マルティノ(以上ヴィオラ・ダ・ガンバ)、クリストフ・ルセ(チェンバロ)  
曲目 マレ:「ヴィオール曲集 第1巻」より“組曲 ト短調”、“二つのヴィオールのための組曲 二短調”、  
メリトン氏へのトンポー、二つのヴィオールのためのシャコンヌ ト長調  
フォルクレ:「クラヴサン曲集」より

八面六臂の大活躍を続ける、フランス音楽の伝統継承者にして“世界屈指のカリスマ音楽家”であるクリストフ・ルセが、実に7年ぶりに来日!! “フランス芸術の伝統”を知り尽くした3人による、関西で一回だけのコンサート!

協賛  
公演

## オーギュスタン・デュメイ&関西フィルハーモニー管弦楽団 オートム・スペシャルコンサート

主催

公益財団法人

関西フィルハーモニー管弦楽団

7/24(水)  
発売

2019年11月21日(木) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥4,000(友の会価格¥3,600) 学生(25歳以下)前売・当日¥2,000

出演 オーギュスタン・デュメイ、ギオルギ・バブアゼ(以上ヴァイオリン)、  
中島悦子(ヴィオラ)、ルドヴィート・カンタ(チェロ)、上田晴子(ピアノ)  
曲目 シューマン:3つのロマンス op.94  
ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第2番 イ長調 op.100 ピアノ五重奏曲 ヘ短調 op.34

大阪の街中の“音の聖域”で、音楽監督デュメイ&関西フィルの魅力を感じていただくオートム・スペシャルコンサート! 上田晴子、L.カンタをゲストに迎え、関西フィルのG.バブアゼ、中島悦子とともに、デュメイが存在感満点のヴァイオリンを奏でるブラームスを中心にお贈りいたします。あなたの目の前の緊密な空間で奏でられる、極上のアンサンブルを存分にご堪能ください。これぞ小規模ホールならではの醍醐味!

協賛  
公演

## 関西弦楽四重奏団&豊嶋泰嗣(ヴィオラ) “ブラームス:弦楽五重奏曲 全曲演奏会”

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中

2019年12月18日(水) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥4,000(友の会価格¥3,600) ※友の会割引は前売のみ。

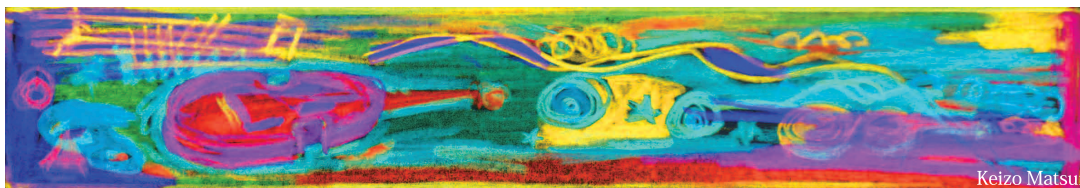
出演 関西弦楽四重奏団/林七奈、田村安祐美(以上ヴァイオリン)、小峰航一(ヴィオラ)、上森祥平(チェロ)、  
豊嶋泰嗣(ヴィオラ)  
曲目 ハイドン:弦楽四重奏曲 二短調「五度」op.76-2 Hob.III-76  
ブラームス:弦楽五重奏曲 第1番 ヘ長調 op.88 弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 op.111

2017年より6回に渡り開催された、“ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 全曲ツィクルス”を終え、新たにこの冬、新日本フィルソロ・コンサートマスター、兵庫県立芸術文化センター管コンサートマスター、九州交響楽団冠コンサートマスターの豊嶋泰嗣を迎えて、“ブラームス:弦楽五重奏曲 全曲演奏会”をザ・フェニックスホールにて開催いたします!どうぞお聴き逃しなく!!



# 音楽と生きる今

— 高木 和弘



今この文章を手にとって読んでくださっている読者の皆様、お元気ですか？

年号も「令和」となり、平成の時代の出来事を思い返すと本当にいろいろなことがありました。私個人もザ・フェニックスホールでお世話になった数々の公演は、思い出深いものとして心に刻まれています。エヴォリューションシリーズでは、ヴァイオリン、チェロ、クラヴサンという編成でいろんな時代の各国の音楽を取り混ぜて演奏させていただき、興味深い経験ができました。パガニーニの24のカプリス全曲演奏会と、西村朗先生に無伴奏ヴァイオリンソナタを書いていただき初演させていただいた公演では、客席が私を取り囲む珍しい舞台配置で、楽しいひとときを味わわせていただきました。また、いずみシンフォニエッタのメンバーと武満徹氏の初期の作品を演奏させていただいた事で、氏の作品にさらなる興味が湧ききっかけができたこともあります。長岡京室内アンサンブルの演奏会では、ホールの持つ素晴らしい音響に助けられ、集中した演奏ができた事、とても感謝しています。大ヴァイオリニスト二村英仁さんとの、まるでスパーリングの様な火花散る経験も、今思えばヴァイオリニストとしてのスキルを大幅に高めてくれた貴重な時間でした。

どんな仕事にも共通すると思いますが、普段はそれに関わっているときはあまり考えないけれども、自分の過ごした一秒毎の積み重ねが人生を、そして歴史を変化させ、紡いでいった実感ができることが、こうしていろんなことを思い出しながら文章を書いている今の僕にはとても大切なことのように思えてなりません。ヴァイオリンを分数楽器から始めた頃なんて、ただかき2畳分くらいのスペースでできる事が、大勢の人が見守る舞台に連れて

行ってくれるなんて思いもしませんでした。これまでに、フランスやアメリカへ留学し、ドイツでの初就職、東京交響楽団での勤務をさせていただき、今現在はエクアドルのキトにて、こうして文をしたためさせていただいています。こうした自分の人生の一時の積み重ねは、全部ヴァイオリンが、そして音楽が与えてくれたもので、かけがえない経験となりました。

一生懸命に練習し、華やかな舞台に立つことを夢見てコンクールに挑戦。そして入賞を果たして、暫くはその年度の入賞者として名前を覚えてもらううちに、舞台上で演奏をすること自体が、演奏家の最終目的地になってしまいがちです。私は長い間音楽に携わる事で、人と繋がり共感し、その輪を世界に少しずつ押し広げて、常に新たな発見や経験をしました。その積み重ねで出来上がっている自分にしか出せない音を、お客様の心にお届けできるこそが音楽家の醍醐味だと、舞台の上で実感できるようになってきてからは、演奏することがとても楽しくなりました。

近頃はこんなちっぽけな私でも、「後進の指導」という大それた事を少しずつ始めています。見様見真似でより良い指導法を模索するうちに、結局はそれも、門下の方々の「心」にいかにか影響を与え得るレッスンにするかという一点に尽きる、と言う事がわかり始めています。時には厳しく、時には楽しく、味わい深く。

若かりし頃に数え切れない「心のご支援」をいただいたザ・フェニックスホールさんへの感謝を忘れずに、どんどんステップアップできているこの人生を喜びとし、これからも味わい深い時間を積み上げていきたいと思う今日この頃です。

高木和弘(たかぎ・かずひろ)/ヴァイオリン奏者 1997年エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞、98年ジュネーブ国際音楽コンクール第3位(1位なし)、2001年フィショッフ室内楽コンクール第1位受賞、05年度文化庁芸術祭新人賞、大阪文化祭賞大賞受賞、07年度第19回ミュージック・ベンクラブ音楽賞オーディオ部門録音作品賞を受賞。ドイツヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスター、東京交響楽団コンサートマスターを経て現在、ガラス室内交響楽団コンサートマスター、長岡京室内アンサンブル、いずみシンフォニエッタ大阪の各メンバーとしても活躍中。



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211  
Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2019年7月  
発行 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール  
編集 諸藤 修一  
デザイン 松井桂三有限会社

